



目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
- 3. IM-PDFTimeStamper for Accel Platform 2022 Winter からの変更点
- 4. 機能一覧
- 5. システム要件
- 6. 検証済み環境
- 7. 制限事項
- 8. 保証規程
- 9. 著作権および特記事項

改訂情報

変更年月日	変更内容
-------	------

2023-04-01	初版
------------	----

本書の目的

本書では IM-PDFTimestamp for Accel Platform のリリース内容について記載されています。

製品の利用対象

次の利用を対象としています。

- IM-PDFTimestamp for Accel Platform を利用したアプリケーション開発

IM-PDFTimeStamper for Accel Platform 2022 Winter からの変更点

機能

- 変更された機能はありません。

システム要件

- サーバ要件
 - intra-mart Accel Platform の Basic Edition 、および、 Professional Edition を追加しました。

検証済み環境

- 変更された検証済み環境はありません。

制限事項

【追加された制限事項】

- 追加された制限事項はありません。

【変更された制限事項】

- 変更された制限事項はありません。

【削除された制限事項】

- 削除された制限事項はありません。

IM-PDFTimeStamper for Accel Platform は、指定されたPDFファイルに対して下記のPDFタイムスタンプ処理を行います。

- タイムスタンプの付与
- 延長タイムスタンプの付与
- PDFドキュメント情報の取得
- PDFに付与されているタイムスタンプの検証
- JPEG（RGB）をPDFに変換する機能
- PDFの画素数を取得する機能

この機能はAPIで提供されます。

各機能の仕様や設定方法に関しては、各マニュアルまたはセットアップガイド等を参照してください。

当バージョンにおけるシステム要件は次の通りです。

下記環境以外での動作に関しては、個別にご相談ください。

intra-mart Accel Platform のサーバ要件

- intra-mart Accel Platform 2023 Spring （ Standard Edition 、 Advanced Edition 、 Enterprise Edition 、 Basic Edition 、 Professional Edition ）
- 利用する intra-mart Accel Platform の [サーバ要件](#) に準じます。



注意

データベース等のシステム要件に関して、intra-mart Accel Platform では対応と記載されていても、アプリケーション側では対応していない場合があります。必ず、本ドキュメントに記載されているシステム要件をご確認ください。

IM-PDFTimestamp for Accel Platform 要件

APサーバ側は、IM-PDFTimestamp for Accel Platform のサーバ要件に準拠します。

IM-PDFTimestamp for Accel Platform では、各APサーバにインストールする構成と、専用サーバにインストールする構成の2つが選択できます。

専用サーバにインストールする場合には、APサーバとは別にタイムスタンプ処理用のサーバが必要です。

タイムスタンプ処理用のサーバとしては以下が必要です。

種別	製品名
オペレーティングシステム	Windows Server 2012 日本語版（64bit）
	Windows Server 2012 R2 日本語版（64bit）
	Windows Server 2016 日本語版（64bit）
	Windows Server 2019 日本語版（64bit）
	Windows Server 2022 日本語版（64bit）
	Red Hat Enterprise Linux 7.x（64bit）
	Red Hat Enterprise Linux 8.x（64bit）

種別	製品名
JDK	Oracle JDK 8
	Oracle JDK 11
	OpenJDK 11
	Amazon Corretto 11
Web Application Server	Apache Tomcat 8.5.x (64bit)
	Apache Tomcat 9.0.x (64bit)

必要メモリ容量

- タイムスタンプライブラリの処理では、処理対象のPDFファイルの約4～5倍ほどのJavaのヒープメモリが実行環境
(分散環境であればタイムスタンプ処理サーバ、スタンドアロン環境であれば intra-mart Accel Platform サーバ)
に必要です。ファイルのアップロード上限を500Mにしている場合、2.5Gのヒープメモリを設定してください。
- 同時に複数ファイル进行处理する場合、処理数分（500M × 2ファイル処理する場合、5G）のヒープメモリが必要です。
必要に応じ、同時処理数を 1 に制限するなど、上位システム側での制御をご検討ください。
- マシンに用意するメモリとしては、上記ヒープメモリ分に加え、OS やその他アプリケーションが使用するメモリ分以上を
確保してください。
(Javaのヒープメモリ割り当ては、OSのメモリの50%～60%程度を目安としてください。過剰に割り当てますと、
ネイティブヒープ領域が不足します。)

必要ディスク容量

- 約 50G + タイムスタンプを付与するPDFの一時保存に必要な領域

クライアント要件

IM-PDFTTimeStamper for Accel Platform で処理したPDFファイルを閲覧する際には、Adobe Reader等のPDF閲覧ソフトが必要です。

PDF閲覧ソフトに起因するトラブルについてはサポート対象外です。

事前に、運用を想定している閲覧環境にて必ずご確認ください。

ライセンス要件

- 開発環境と運用環境で、サーバマシンを分ける場合は、サーバマシン毎にライセンス購入が必要です。
- IM-PDFTimeStamper for Accel Platform を複数のサーバマシンで稼働させる場合、インストール数分のライセンスが必要です。
- ライセンス購入価格については、intra-mart特約店にお問い合わせください。
- 年間保守契約に加入しているユーザは、製品に関する問い合わせおよび、製品のバージョンアップを受けることができます。詳細は営業までお問い合わせください。
- ご要望により研修コースも開催いたします（有償）。また営業デモ等を受けることも可能です。

以下、弊社動作検証済みの組み合わせです。

サーバ環境

スタンドアローン構成

intra-mart Accel Platform	OS	JDK	Web Application Server	連携エンジン
2023 Spring(Gerbera)	Windows Server 2022 日本語版	Oracle JDK 11.0.7	Resin 4.0.66	タイムスタンプライブラリ 1.1.0
2023 Spring(Gerbera)	Red Hat Enterprise Linux 7.7	OpenJDK 11.0.6	Resin 4.0.66	タイムスタンプライブラリ 1.1.0

分散構成

intra-mart Accel Platform

intra-mart Accel Platform	OS	JDK	Web Application Server
2023 Spring(Gerbera)	Windows Server 2022 日本語版	Oracle JDK 11.0.7	Resin 4.0.66
2023 Spring(Gerbera)	Red Hat Enterprise Linux 7.7	OpenJDK 11.0.6	Resin 4.0.66

タイムスタンプ処理サーバ

OS	JDK	Web Application Server	連携エンジン
Windows Server 2022 日本語版	Oracle JDK 11.0.7	Tomcat 9.0.65	タイムスタンプライブラリ 1.1.0
Red Hat Enterprise Linux 7.7	OpenJDK 11.0.6	Tomcat 9.0.65	タイムスタンプライブラリ 1.1.0

目次

- 共通の制限事項
- 対象ファイルについて
 - 電子帳簿保存法（e文書法）対応の場合のPDF/Jpegファイル制限
 - 電子帳簿保存法（e文書法）以外で使用する場合のPDFファイル制限
 - 共通のPDFファイル制限
 - 【重要】PDFパスワード付与に関する注意事項
 - 【重要】デジカメやスマートフォンで撮影されたPDFファイルやJpegファイルに関する注意事項
- タイムスタンプライブラリで使用する情報の制限値
- intra-mart Accel Documents Timestamp OptionとIM-PDFTimestamperを連携させるケースで、デジカメ/スマートフォン対応を行う場合

共通の制限事項

- IM-PDFTimestamp for Accel Platform の起動ユーザには管理者権限が必須です。うまく処理できない場合は、まずユーザ権限をご確認ください。

対象ファイルについて

電子帳簿保存法（e文書法）対応の場合のPDF/Jpegファイル制限

処理対象のファイルはスキャナで出力されたPDF/Jpegファイルが前提です。

上記以外のPDF/Jpegファイルは、タイムスタンプの付与などを行うことはできますが、e文書法の対応外となる可能性があります。

富士フイルムビジネスイノベーション社製の複合機で出力されるPDFファイルを対象としておりますので、他の会社の複合機・スキャナで出力されるPDFファイルに関しては、必ず事前に処理に問題が無いかご確認ください。

単純にスキャンしただけでなく、加工やセキュリティ付与されたPDFファイルはサポート対象外です。

電子帳簿保存法（e文書法）以外で使用する場合のPDFファイル制限

サポート対象は以下になります。

- IM-PDFAutoConverter for Accel Platform で作成されたPDFファイル
- IM-PDFDesigner for Accel Platform で作成されたPDFファイル
- Acrobatで作成された特殊なオブジェクト等の無いファイル（詳細はサポートPDF別紙をご確認ください）

- **サポートするPDFファイルの範囲.pdf**

上記以外でも対応は可能ですが、詳細はワイ・エス・エス社までお問い合わせください。

共通のPDFファイル制限

- タイムスタンプライブラリによるPDFの情報取得時、画像が含まれていないPDFの場合、解像度の取得値は0になります。このため0になったファイルは電子帳簿保存法（e文書法）不適合と想定されますので注意してください。
- タイムスタンプライブラリによるPDFの情報取得時に、PDFの色空間の情報が非対応の場合、色階調の色数、及び解像度の取得値は0になります。対応している色領域は DeviceRGB、DeviceGray です。それ以外の色領域のファイルに関しては、事後対応となります。
- タイムスタンプが付与されたPDFファイルに対し、intra-mart Accel Documents Secure Download Option によるセキュリティの付与を行った場合、原則エラーとなります。どうしても IM-PDFTimestamp for Accel Platform と intra-mart Accel Documents Secure Download Option を同時に使用したい場合、ワイ・エス・エス社までお問い合わせください。
- タイムスタンプが付与されたPDFファイルに対し、加工・結合・セキュリティ付与など、何等かの変更を加えた場合、付与されているタイムスタンプが改竄されたと判断して、タイムスタンプ処理の検証結果が無効となります。
- タイムスタンプが付与されたPDFファイルの規格バージョンは1.7となります。但し、極力変更を加えないよう、PDFの内部構造の1.7相当への変換は行いません。

【重要】PDFパスワード付与に関する注意事項

PDFファイルを開く際のパスワードを付与するお客様は、必ず以下を確認ください。

参照用パスワードのみの付与は止めてください。参照用パスワードを付与する場合にも、必ずセキュリティ設定用のパスワードを付与してください。

以下でその理由を説明いたします。

- **【重要】PDFパスワード付与に関する注意事項.pdf**

【重要】デジカメやスマートフォンで撮影されたPDFファイルやJpegファイルに関する注意事項

スキャンする際には用紙サイズとdpiが必要となりますが、デジカメやスマートフォンでの撮影では用紙サイズとdpiが取得できないため、画素数で代替するようにしています。

代替する画素数として387万画素以上であることが必要です。

このためJPEGをPDFにする際の設定にはご注意ください。

また、PDFの画素数を取得した際のチェックにおいては、387万画素以上であることを上記で確認してください。

- タイムスタンプ局のURL : 制限なし (チェックなし)
- タイムスタンプ局への接続ID : <文字数> 1~50文字、<文字種>英数字 (大文字、小文字)、記号 (! # \$ % & ' * + - / = ? ^ _ ` { | } ~ @ . " ') が使用可能
- タイムスタンプ局への接続パスワード : <文字数> 1文字~、<文字種>制限なし

intra-mart Accel Documents Timestamp OptionとIM-PDFTimestamperを連携させるケースで、デジカメ/スマートフォン対応を行う場合

- JPEGをPDF変換したい場合には個別開発でPDF変換したうえで、intra-mart Accel Documents Timestamp OptionにPDFを渡してください。
- PDF登録前にTimeStamperの「画素数を返す関数」を使った個別開発を行ってください。

上記で取得された画素数を、iADの文書の属性として保管するように開発してください。

保証規程

保証内容及び対象

この保証規程（以下、「本書」という。）並びに貴社が当社と締結した一切の契約が定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）

及び制限事項の範囲内にて貴社が本製品を利用することを条件として、当社は貴社に対し、本製品に同封され、又は当社ホームページ（https://document.intramart.jp/library/previous_index.html?product=pdf-timestamper）に掲載されているマニュアルの最新版のとおり本製品が動作することを保証します。

なお、当該保証は、貴社における内部的使用を目的とする限りにおいて適用されるものです。

また、当該保証は、当社の一方的な裁量により、無償で交換若しくは修補、又はかかる本製品の対価として

イントラマートが貴社から受領した金額の返金のいずれかの方法によるものとします。

上記の対応は、正規の当社製品を購入され、適法かつ誤りなくユーザ登録を完了されたお客様のみに当社が行うもので、当社はその他の対応又は保証、特に本製品をインストールしたハードウェア、接続製品、及びそれらに保存されたソフトウェア、データ等の保証（但し、これらに限られない。）は一切行いません。

保証の適用除外

下記の場合は動作保証が適用されません。

- 貴社が、本書又は貴社が当社と締結した一切の契約に定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）
その他の制限事項の定める範囲内にて本製品を利用しなかった場合
- 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害等の外部的事情による誤動作の場合
- 合理的な使用方法に反するご利用に起因する場合
- 貴社あるいは第三者が改変・変更等及びそれらの作業を行ったことに起因する場合
- 本製品以外のソフトウェア、ハードウェア等との互換性の問題から生じる場合

免責

本製品に関する当社の損害賠償責任は、理由のいかんを問わず、本製品の「ソフトウェア使用許諾契約書」に定める責任の限定の範囲内といたします。

その他の契約との関係

— IM-PDFTimeStamper for Accel Platform 2023 Spring リリースノート 初版 2023-04-01
本製品の保証に関して、貴社が当社と締結した一切の契約と本書の間に齟齬がある場合には、
本書の記載が優先するものとします。

著作権および特記事項

intra-mart は株式会社 NTT データ イントラマートの登録商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本製品を使用する場合は、本製品に含まれる各ソフトウェアのライセンスについても同意したものとします。

以上